

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等ペースとの関係が適切であるか	5	0	0	利用定員に対して活動スペースが確保しており、適切である。 子どもたちが密集しないように、活動の場を分散している。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	0	0	配置数は適切であり、必要に応じて臨機応変に対応している。 子どもから目が離れないように配置も気を付けている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1	0	事業所内は、段差などはなくバリアフリーであり、安全面に配慮しい適切である。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	0	0	日々の業務改善を進めるために、療育後に目標設定についての振り返りや、問題提起を行うなど、考えを出し合い全職員で話し合うようにしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	保護者向け評価表によるアンケート調査を行い、保護者や利用児の思いやニーズ意見など、全職員で把握し改善策を話し合い、早急な対応に努めている。 保護者の意向を把握し改善などに繋げている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0	ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	5	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	事業所内研修や外部の研修（リモートも含む）等、積極的に参加し、所内で報告するなど職員間で情報共有をし、支援に繋げている。 職員会議の中で、毎月職員研修を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	保護者のニーズを把握し、アセスメントを行い職員間で話し合っサービス計画作成に繋げている。 保護者のニーズを元に、アセスメントを行い、客観的に分析し作成している。（アセスメントの記録を残している）
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	0	太田ステージ、PEP-3の検査を使用し、行っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っ	5	0	0	療育開始前には、活動の内容や組み立ての相談や打

	ているか				ち合わせをなど行い、立案している。 職員同士でプログラムについて話し合い決めている。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	利用児の興味関心、特性また状況に応じて活動プログラムを工夫するように努めている。 職員間で活動について話し合い個々の興味のある活動を取り入れている。 毎回活動内容を考えている。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	0	利用児の発達や状態等も配慮しながら課題設定や支援を考えるように努めている。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	子どもの発達状況に応じた活動（個別と集団）の優先順位を考えながら計画を作成するようにしている。 個々に応じて個別活動、集団活動を組み合わせ作成している。
15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	毎回支援開始前には全職員で打ち合わせをし、何かあった時にも誰でも対応できるように確認している。 開始前にその日の活動内容、分担等について話し合い役割を確認している。 職員間でスケジュールを立てている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0	毎回支援終了後に全職員で支援の振り返りを行い、次の支援につながるよう情報を共有し、誰でも同じ支援が提供できるようにしている。 終了後には支援の振り返り、保護者の伝達等話し合い情報を共有している。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	支援後に連絡帳（タブレット入力）に記録し支援の検討や改善を行うようにし、全職員で共有して利用児にあった支援に繋げている。 記録を残し職員間で共通理解をし、ここに合った支援の見直し等に繋げている。 記録を残し、職員間で共有できるようにしている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画書の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	アセスメントを繰り返し、計画の見直しなど利用児に合ったものになっているのか定期的に話し合うようにしている。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	5	0	0	利用児の心身の発達や生活の質の向上等ニーズに合った基本活動を複数組み合わせる支援を考えている ガイドラインに基づき複数組み合わせる支援を行っている
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	利用児を理解している担当者や児童発達管理責任者が参加して情報共有に努めている 担当者など子どもの状態を把握したふさわしい者が対応している
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	0	0	保護者の同意や要望、または学校からの要望等に対応し、必要に応じて行えるよう連絡調整を適切に行っている 必要に応じて学校と連絡をとり連携体制、調整を行っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	1	0	現在医療的ケアが必要な利用児はいないが、必要に応じて連携が図れるよう連絡体制を整えている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	0	0	移行支援会議や電話、見学等により利用児の支援が継続して安定した支援が行えるよう連携を努めている 就学前の情報は書類や直接聞くなど、必要に応じて情報共有をしている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等への移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	0	0	現在該当者はいないが、必要に応じて情報共有を提供できるよう支援について整えて体制づくりを行っている 必要な際は、これまでの支援の情報提供を行う予定である
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	0	0	地域専門機関との協議会の各部会等に参加し、必要に応じて助言や研修等、受けている 研修などを通し、専門機関との連携にて助言等を受けている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	0	0	コロナ禍もあり、まだ利用児のニーズに応じて必要性がある時には取り入れていく予定である 日常的に学校等で交流があるため、活動する機会をとっていない
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	5	0	0	積極的に参加している 専門機関との関係、連携のため研修など参加している

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	利用後に利用児の姿や課題について療育で気付いた事など伝え、また日頃の様子等も保護者から聞き、共通理解できるよう努めている 送迎時に子どもの様子等を共有し、お互いに共通理解を図っている 療育後に保護者と話をする時間を設けている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	0	0	コロナ禍により、実際の療育の見学は難しいがリモートで支援の内容を伝えたり支援ツールを家庭でも使用してもらったりして支援を行っている、また保護者自身が支援できるよう相談等にも対応している 家庭の状況や保護者に応じて、対応の仕方などの支援を行っている
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	契約時や利用後に丁寧に説明を行い、保護者が理解できるように確認したりして対応している 契約時に分かりやすいよう時間を設けて丁寧に説明している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	保護者の思い等、安心して話すことができるよう保護者の思いを汲み取りながら寄り添った対応に努めている 保護者からの相談がある際には、事業所内相談等で時間を取り、助言等を行っている 電話等でも相談に乗っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	0	0	コロナ禍により、今年度は会の活動は開催が難しいが、感染対策など工夫して連携がとれるよう考えていきたい 今はコロナ感染予防の為、定期的な実施はできていない
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	苦情についての窓口を保護者にお知らせをし体制づくりをしている、また必要に応じて迅速に対応できるように一人ひとりに丁寧に話を聞くように努めている 苦情などあった時には迅速に対応している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連携体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	事業所の受付や掲示板など発信したり、利用後の話などで個別に声をかけたりしている ホームページ等で発信している
	35	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	全職員で個人情報の取り扱いに十分注意している 個人情報の取り扱いには、事業所内外に問わず注意している 利用者の名前など目に触れないようにしている

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通を情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	利用児の特性や保護者の障がい特性の理解、受け入れに応じて伝え方の工夫を行うように努めている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1	0	現在はコロナ禍で難しいが、工夫できるよう考えていきたい 招待をする機会がないが、地域での行事に参加することで知っていただけるように努めている
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	0	0	契約時や毎回の利用児にも保護者に知らせ、いつでも確認できるよう受付場所にも設置して全職員で対応できるようにしている 保護者には契約時に知らせている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	定期的に避難訓練を行い、実施後は参加した利用児の姿を保護者に伝えている 定期的な避難訓練を行い、避難に必要な持ち物など確認をしている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	所内外で研修を行い参加し虐待防止に努めるよう全職員で周知している 職員会議にて毎月実施している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	0	0	職員研修で全職員、身体拘束適正化研修で周知し、保護者にも十分に説明できるようにしている 事例検討を行い具体的な話し合いをしている 必要に応じて計画書へ記載するようにしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	0	0	食物アレルギーの利用児に適切に対応できるように努めている アレルギーの有無を保護者に確認し、除去食など医師の判断により対応している 提供するときには、アレルギー名と名札を使用している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	ヒヤリハット報告書を作成して、職員間で報告し必要な対応と対策を行い、改善に努めている